

し ぼう さい こう ざ  
いわき市防災講座 第22回

「土砂災害から身を  
まもる」

「3つのポイント」を  
みのがさない  
でネ！





①こんにちは“防災おじさん”こと地域防災マネージャーの三輪です。  
今回は、危機管理総括担当の猪狩さんと共にお伝えします。

②ここは、以前に土砂災害があった場所です。市内では、ここ以外にも土砂災害が毎年発生しております。  
今回は、「土砂災害から身を守る」こちらをテーマに、**知っておくべき“3つのポイント”**について、お伝えしてまいります。





# いわき市 防災マップ

平成 27 年 4 月

— 平地区 —

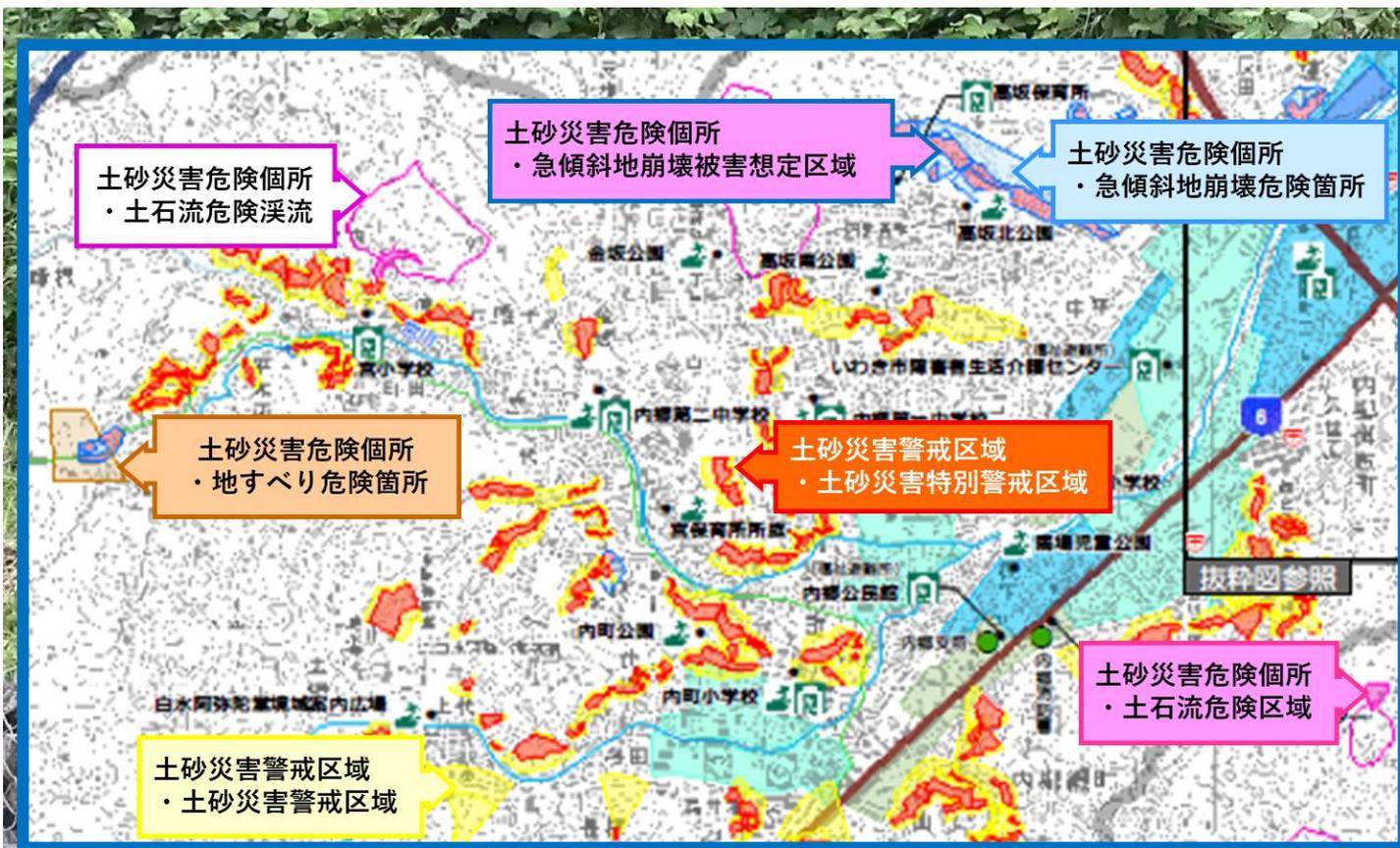


- このマップは、津波ハザードマップや洪水ハザードマップのほか、土砂災害警戒区域に関する情報などを地区ごとにまとめたものです。
- 図面を見やすいところに貼り、近所の避難所や避難経路を把握しておくなど、お住まいの周辺について情報の確認等にお使いください。

▼わが家の避難所

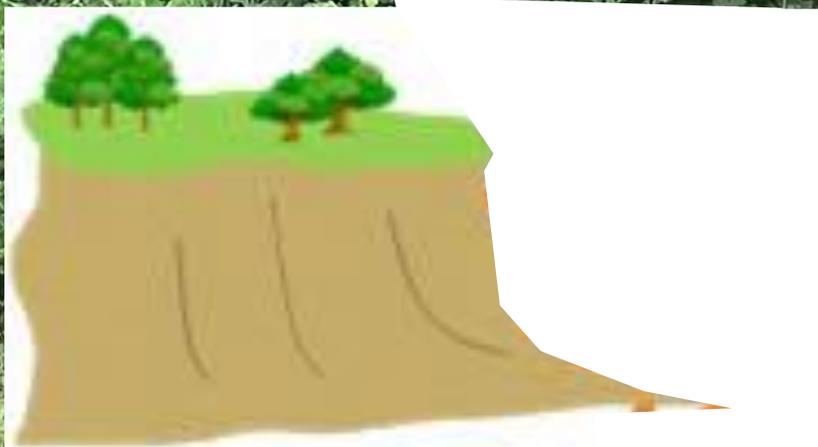
はじめに、いわき市防災マップをご覧ください。





この防災マップでは、土砂災害のおそれのある「土砂災害警戒区域」や「土砂災害危険箇所」が確認できます。





内閣府「避難情報に関するガイドラインの説明資料」より



防災マップの他にも自宅周辺に「がけ地」や「小さな沢」などがあれば注意が必要です。これらを普段から確認しておくことが重要です。このような場所の近くにお住まいの方は土砂災害に備え、あらかじめ避難先や避難経路を確認しておきましょう。





## 土砂災害警戒区域などを確認する



ポイント 1

これまでの内容を  
とりまとめてしま  
しょう。  
説明の中に“確認”  
という言葉がよく  
出てきました。  
そこで1つ目のポ  
イントは、「**土砂  
災害警戒区域など  
を確認する**」とい  
うことです。





さて「土砂災害」ですが、こちらは、いつ発生するか分かりません。  
土砂災害は、地震や大雨などで多く発生しております。  
そこで今回は、大雨に関する情報に焦点をあて、ご説明したいと思います。





気象庁から発表される気象情報の中には、「大雨注意報」というものがあります。  
これは、雨が降り、土砂災害が発生するおそれがある場合に発表され、  
さらに雨が降り、重大な土砂災害が発生するおそれがある場合は「大雨警報」が発表されます。

大雨警報

大雨注意報





また、大雨が降り続き、降った雨が土の中に大量に溜まるなど、命に危険を及ぼすような土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況になると「土砂災害警戒情報」が発表されます



土砂災害警戒情報

大雨警報

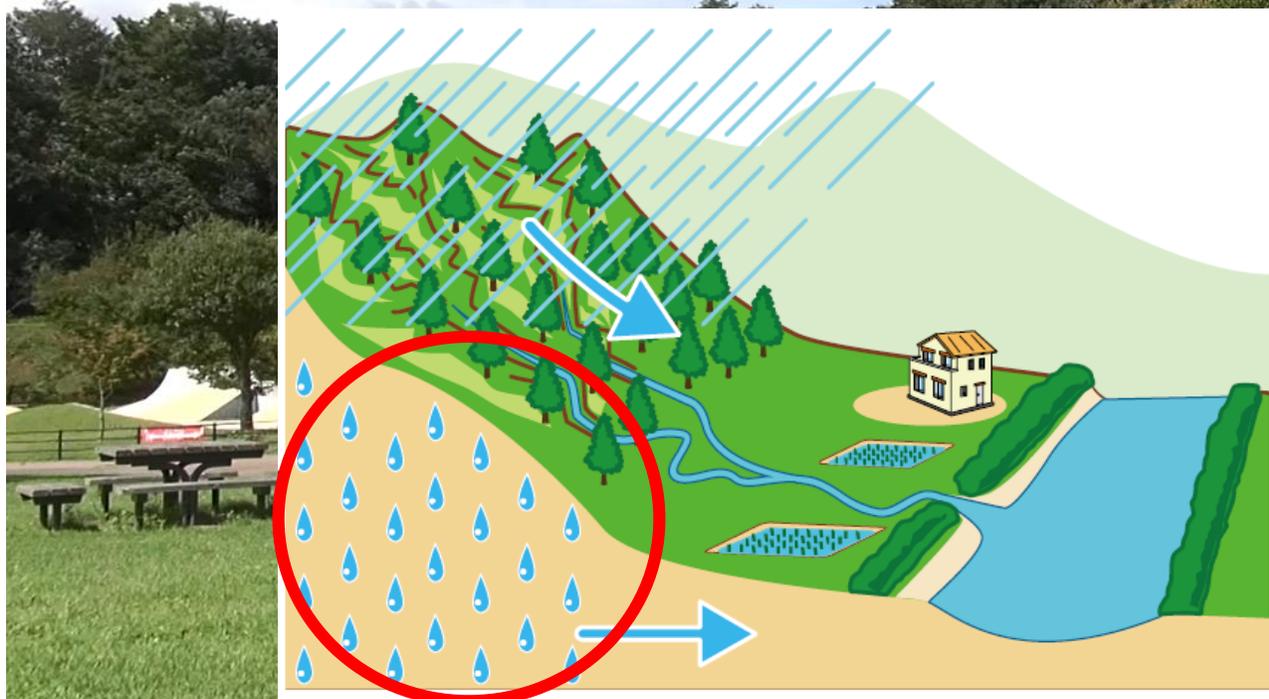
大雨注意報





ポイント2

## 気象情報に注意する



国土地理院「洪水はなぜ起こる？」より

この土の中に溜まる水分量は、短時間に降る大雨によるものや数日かけて降り続く大雨によるものなど様々ですので、雨の降り方について注意深く知ることが重要になります。以上のことから2つ目のポイントは、「**気象情報に注意する**」ということになります。





## エリアメール

避難指示発令  
(土砂災害)

いわき市からのお知らせです。…

ただ今は、気象情報についてお話をしてまいりましたが、いわき市では、これら気象の情報などを収集し市民の皆さんへ避難情報を発令しております。





避難情報につきましては、避難に時間がかかる高齢者等の  
方々が危険な場所から安全な場所へ避難するための  
「**高齢者等避難**」や避難の対象となる地域の方々が全員速や  
かに危険な場所から避難するための「**避難指示**」また、  
既に災害が発生しているか又は発生してもおかしくない状況  
で、直ちに命を守る行動をとるための「**緊急安全確保**」があ  
ります。

緊急安全確保

避難指示

高齢者等避難





このうち「緊急安全確保」は只今申し上げましたとおり、“命を守る行動をとる”こととなりますので、本日のテーマでもあります

「土砂災害から身を守る」ためには、ご自宅が崖などに面している場合崖などから離れた部屋に移動するなど、少しでも身の安全を確保する行動をとるようにします。

## 緊急安全確保



内閣府「避難情報に関するガイドラインの説明資料」より





いずれにしても、雨が強くなる前に 明るうちに避難するなど、早めの行動が重要になります。  
気象情報に注意し、危険を感じたら避難情報の発令を待たず、自主的に避難することをお勧めします。



内閣府「避難情報に関するガイドラインの説明資料」より





いわき市では、このように段階的に避難情報を発令しますが、いつ避難するかは、市民の皆さん一人ひとりに違いがあると思います。

自分の避難するタイミングはどのような時か、日ごろから確認しておくことが大切です。

今夜、大雨の予報です。うちは土砂災害警戒区域なので、明るいうちに避難してきました。





ポイント2

## 避難するタイミングを確認しておく

今夜、大雨の予報です。うちは土砂災害警戒区域なので、明るうちに避難してきました。



そこで、3つ目のポイントは「**避難するタイミングを確認しておく**」ということになります。





最後に“土砂災害から身を守る”3つのポイントについて今一度確認し、これらを参考に“早めの避難”を心がけましょう。



ポイント1

**土砂災害警戒区域などを確認する**



ポイント2

**気象情報に注意する**



ポイント3

**避難するタイミングを確認しておく**

